

令和2年 8 月 20 日

浦安市教育委員会
教育長 鈴木 忠吉 様

浦安市立小中学校における学校生活へのICT活用についての要望書

浦安市立小中学校PTA連絡協議会
会長 橋爪 雄輔

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、浦安市立小中学校においては3月2日より5月29日まで臨時休校措置をとっておりました。この期間の子どもたちにおいては、生活の乱れからくるストレス、先生・友達と会話できないストレス、学力および体力低下の恐れなどの休校措置における課題が生じたと考えております。

今後、新型コロナウイルスの第二波、第三波が来ることを考慮し、子どもたちの為に学校生活が充実したものとなることを目指し、ICTの活用を進めていくべきだと考えます。

つきましては、ICTを教育現場に取り入れることを検討・実施する事につき、下記の通りお願い申し上げます。

記

1. ICTを活用した学校側と児童・生徒とのコミュニケーションを行う方法を整備するようご配慮願いたい。
2. 児童・生徒の生活の乱れからくるストレス、社会性を身に着けるといふ観点から、先生と児童・生徒の信頼関係を生むために双方向もしくは先生からの片方向のオンライン朝礼についてICTを活用して早期に実施することを要望します。
3. 授業においてICTを活用するために児童・生徒一人あたり1台の端末を用意することを要望します。
4. 小学校低学年は端末操作に不慣れなことによるICTの活用が進まないケースが考えられるため、学年にあわせたICTの活用を検討、実施するよう要望します。
5. 現在では県、市が用意する支援動画が分散しているため、コンテンツを一か所に配置するなどのアクセスのし易いwebサイト構築を要望します。
6. 将来的な双方向のオンライン授業実施の検討を要望します。
7. 双方向でのオンライン授業を実施する際には、集中力の持続が難しいことから授業単元の細分化・授業時間の短縮などの検討を要望します。
8. ICTを活用するために教員がインターネット環境へアクセスできるインフラの整備、及び教員に対するICT教育の実施の検討を要望します。
9. 教員がICTを児童・生徒のために活用するため、現行の運用ルールの変更、また新規のルールを策定することを要望します。
10. 休校時に児童育成クラブ等で過ごす児童のICT活用をサポートするための児童育成クラブとの連携
11. 必要に応じ外部委託も活用しICT活用が可能な学校、可能な教員が出来る部分から、学校生活へのICT導入を早期に開始・進めることを要望します。

12. 上記事項につき学校での ICT 活用推進に向けて検討を行う検討委員会の設置を要望します。尚、構成員は、教育委員会、学校、保護者(PTA)、専門家等とする。

<特筆事項>

1. ICT活用を早期に開始する事で、コロナウイルスが治まったとしても、毎年冬季のインフルエンザによる学級閉鎖、学校閉鎖時においても先生、児童・生徒とのコミュニケーションをとることができる
2. 早期にスモールスタートでのICT活用を行うことで、各種問題点の洗い出し・フィードバックが出来ます。そのため、ICT活用を拡大する際に、スムーズな実現が可能となると考えます。

<参考情報:保護者の声>

1. 小学校低学年においては端末動作等において保護者のサポートが必要だった。
2. 小学校低学年には操作方法の習熟が難しい。共通し、簡易な操作の端末を準備してほしい。
3. 市、県等で支援動画が分散されており必要なコンテンツに辿り着く事が難しく面倒だった。
4. 端末機器について、破損した際の補償についての懸念点があります。
5. 児童・生徒に貸与する端末機器へ学校からの緊急連絡等を伝えるようにできないか。今は保護者の元にメールが届き児童・生徒へ伝えるという手段しかなく。